



子育て支援施設 & 催しのご案内

◆すこやかタイム◆

毎週土曜日に、児童館で子ども向けの「すこやかタイム」という楽しい催しを行っています。
申し込みなどは必要ありません。就学前のお子さんは、保護者と一緒にあそびにきてください。

- 1月9日(土) コマ作り
- 1月16日(土) おりがみあそび
- 1月23日(土) メルヘンタイム
- 1月30日(土) 節分オニ作り
- 2月6日(土) ソーマトロープを作ろう

◆母と子のサロン〜ベルトカバー作り〜◆

日時 1月12日(火) 10時〜12時

※10時〜10時30分 身体測定
※10時30分〜12時 ベルトカバー作り

場所 多久市児童館
対象 就学前の乳幼児とその保護者
講師 児童厚生員
参加料 無料
内容 児童厚生員が講師となり、ベルトカバー作りをする

▼問い合わせ 児童館 ☎75-6621

子育て支援センター ☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜日 (祝日休み) 10時〜12時

場所 多久市児童館

◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月〜土曜日 (祝日休み) 9時〜14時

◆子育て相談(電話相談可)

日時 月〜土曜日 (祝日休み) 9時〜17時



人権教育 No. 225

「生」に「ま」を 「清々しい 新年を迎えて」

「元旦」は一月一日の朝を指します。

一年分の新しい命をいただくおめでたい日であり、豊作を祈願する大切な日です。二〇一六年の時が刻み始め連続とつながっていきます。

時の流れと同じように私達の命も繋がっていきます。そして命が尽きるその瞬間まで歩みづけます。

私たちの命は、親から命の力を分け与えてもらうことで存在します。その命を繋いでいくためには、私たちは命をいただきます。

食事前の「いただきます」、食後の「ご馳走さま」の言葉に

は感謝の気持ちが入められています。毎日食卓に並べられている肉や魚、野菜など食べ物には輝く命があります。その命は、私たちの命へと繋がっています。

そして、お正月はそのような繋がりを考えて家族が集まる時です。時の流れと同じように私たちの命もさまざまな命をいただきますがらつづいていくことを考える良い機会です。

自分の祖先に思いを馳せると二人の親、四人の祖父母、八人の曾祖父母、さらに一六人、…と続き、その中の一人でもいなかったら自分は存在しません。

自分の存在の奇跡に気づきます。命の源を考えることで、希望や勇気がわいてきます。今年も健やかで希望の一年でありますように願います。

社会教育指導員 出口 幹子

市交際費の支出状況

▶平成27年度11月分

支出種別	区分	件数	金額 (円)
弔 慰	今月分計	0	0
	今月累計	30	104,072
見舞い	今月分計	0	0
	今月累計	3	30,000
御 祝	今月分計	4	38,800
	今月累計	41	187,600
賛 助	今月分計	0	0
	今月累計	2	8,000
激励金	今月分計	0	0
	今月累計	0	0
接 遇	今月分計	2	6,120
	今月累計	43	121,323
会 費	今月分計	2	8,000
	今月累計	34	175,000
その他	今月分計	0	0
	今月累計	3	12,800
合 計	今月分計	8	52,920
	今月累計	156	638,795

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

市民文芸

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

夢想家は 百年のちの
家を建て 数奇な道を 自ら選ぶ
抱卵を見つけし日より 朝毎に 隆幸
孵卵を待ちて 耳を澄ませり 川浪 信子
冬枯れの 庭に鮮やか 蠟梅の
香り放ちて 我をなぐさむ 梶原恵美子
道の辺の 落葉いづくに 消え失せし
土に還りて 春に生きつぐ 田淵ミチ子
漆黒の 宇宙を照らす 太陽の
朝な朝なに 柏手を打つ 浦野 嘉恵

俳句

《大石ひろ女 選》

秋雨やひねもす 絵筆にぎりしめ 中尾 和弘
小春日の 小きき集ひに 誘ひ合ふ 田中あつ子
日短かを 遊び足らずの子等の声 武富 律子
山茶花や じゃんけんばいと 下校の子 光野 正子
口遊む ロシア民謡 寒波来る 選者 吟

川柳

《多久市川柳会 互選》

開運の ダルマ片目の まま師走 松下 修
新風を 起こして 笑顔 五郎丸 古賀ちひろ
新春の 方程式は まず 笑顔 大谷 和
新しい 命が動く 潮満ちる 田代まつこ
温暖化 嬉しくもあり 恐ろしき 西山 残月

